

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年10月19日

事業所番号	2772402703	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	有限会社 ウイズ・ケアサポート		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム そおれ	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	枚方市長尾元町六丁目26番1号	評価調査日	平成 21 年 10 月 16 日
	電話 072-864-5788	評価確定日	平成 21 年 10 月 24 日

【情報提供票より】 (平成21年9月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年2月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	9人
職員数	10人常勤 3人 非常勤 6人	常勤換算	7.0人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄筋 4階建ての(2階部分)
-------	-------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (1月)	54,000円	その他の経費	18,000円
敷金	有 (60,000円)		
保証金の有無 (入居一時金を含む)	無		
食材料費	朝食	円	昼食
	夕食	円	おやつ
	または1日当たり	1,680円	

(4) 利用者の概要 (9月15日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	0名	要介護2	0名		
要介護3	2名	要介護4	5名		
要介護5	2名	要支援2	名		
年齢 平均	85才	最低	75才	最高	94才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	坂野病院 さかの北山クリニック たかはま歯科
---------	---------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

JR片町線長尾駅より徒歩6分で、周辺は農地と住宅地が混在している鉄筋マンションの2階部分を利用しています。開設以来5年目となり、職員の経験年数4年以上の者が5名で、安定した介護が行われている。運営者は、ご自身の業務の合間をみて、職員への指導とケアの応援をされています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	施設建物が鉄筋マンションで孤立し、周囲は農地が多く、JR駅を中心として近年住宅地化が進んでいる環境で、地域交流は、お互いに居住層が少ないため、馴染みになり難い環境にある。しかし、運営推進会議にご出席の校区区長さんのご尽力で、徐々に、交流が図られているので、長い目で見て頂くと共に、日頃の配慮の積み重ねを期待したい
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者が来月、家庭の都合で退職するという事情があるので、運営者が当初からの介護経験等を活かし、改善計画を基に、指導とバックアップを重ねて作成している。従って今回は、運営者が下書きを作成し、職員と数回、検討しながら作り上げている
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議は原則、2ヶ月ごとに開催し、ホーム側の経過報告と、出席者からの情報提供、質疑応答等で介護向上に役立っている。又、出席者の校区区長さんには、日常的に格別のご配慮、ご指導を頂き、運営の改善にプラスになっている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	利用者は、ご家族が枚方市以外に居住する方が主となっており、1人を除いて、来訪の機会が少ない。ご苦情はあまりないが、お聞きした場合は真摯に受け止めて改善をしている。尚、利用者は昼間、共用室でくつろぎ、仲良く話し合いながら過ごしている
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	現状では地域の方々との交流は多くないが、職員の子供さんが関係の糸口となって交流が出来たり、又、近所の方々との挨拶や、保育園の園児との交流が行われている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「利用者さんを家庭的な環境のもと介護その他の世話をする。地域住民との交流を図り、ながら利用者さんの自立した生活を支える必要な援助を行う」とした理念を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は、職員との定期的な会合で、理念の実践を求めている		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営推進会議にご出席の校区区長さんから、数々の情報提供、ご指導を頂いている	○	地元住民の方々との交流の機会を見つけて欲しい。又、日常の散歩での近隣の方々への声かけ挨拶等、以前から、実施しているようですが、好感を持っていただけるグループホームを、皆で目指して欲しい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者は評価の意義を十分理解している。今回は、管理者が家庭の都合で退職することになっているので、運営者が、職員との話し合いで自己評価を行った		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催されている。議事は活動報告と質疑応答が、主として行われている。ホーム設立から4年目で、特に、新興の住宅地域ということもあり、交流は徐々に進んでいる		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者は日常での提出書類等、訪問する際は、市のご担当者との交流を心がけている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月定期的に、報告文書も含めて発送している	○	ご家族への毎月の発送文書の中に、短信を欠かさないで記入するよう努力して欲しい
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族代表の出席を、お願いしている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	住宅地域としての環境からか、応募者はあるが、3ヶ月以内の退職者が出やすく、悪循環となっている。現在は運営者の努力で、4年以上の職員が7割以上となり、介護には支障となっていない。又、運営者は働きやすい職場となるよう種々の施策を実施している		

5 人材の育成と支援

	10 19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	運営者は、職員の研修には助成も含めて熱心に取り組んでいる。経験年数が長くなって、受験資格者が4名あり、目下、合格を目指して努力している		
	11 20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>	原則的に3ヶ月ごとに地域交流会が開催され、職員の参加する交流も行われている		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	利用者、ご家族に納得して頂けるよう十分に説明等を行っている。又、通所介護の利用もあり、いずれ入所されると期待している		
--	-------	--	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員は利用者の立場に立った介護を心がけており、人生の先輩として、学ぶべきことも多く、日常の生活に配慮しながら、良好な関係を築いている		
--	-------	--	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は日常の介護に悩むことがあれば、理念に戻って検討し工夫をしている		
--	-------	--	------------------------------------	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	ケアマネジャーの指導のもとに、利用者一人ひとりの多くの情報記録を進めている。新計画は記録を参考とし、職員との協議を重ね作成している		
--	-------	---	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の見直しは、一人ひとりの総括表を参考にして、一定期間ごとに作成している。但し、入所期間の長期化に従って、職員にも症状等の把握が困難となってきたので、更に協議を重ねて、新計画を作成している		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、ご家族ごとの事情に合わせて、適宜、多様な支援を行っている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	かかりつけ医師による往診は、月2回行われている。又、24時間の対応も行われている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	面会のあるご家族とは、看取りの話し合いを重ねて、文書も交わしている。職員の対応については検討中である		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の個人情報の取扱いについては、入退職時に誓約書にて確認している。言葉遣いについても、日常活動の中で指導している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活については、一人ひとり自由に過ごしている。又、利用者同志も適宜、和やかに話し合いをしている		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員がメニューを作成しているのでリクエストに対応できている。食事前後の手伝いについて、出来る方は少なくなったが、出来る方には進んで、手伝ってもらっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		入浴日の時間は、順番を希望に副って利用していただくようにしている

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		楽しみごとは、職員が掌握出来た個別支援で、リハビリを日課としている。通常の楽しみごともおられる
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		散歩、日光浴など、外気にあたる機会を日頃から、積極的に行っている

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		建物がマンションのため、通路は外部の方も通り、階段の転落防止がないので、玄関は鍵掛けとなっている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		消防訓練は昼夜を想定して実施している。目下、個人ごとの緊急避難用の持ち出しリュックを検討中である。尚、地域の方々の協力については現在、実現していない

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		昼食と夕食の週3日分の食材は業者メニュー、他の日は職員が過去のメニューも参考として準備している
--	----	----	---	--	---

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		共用空間は明るく、広く感ずるよう適切に利用している。利用者は楽しく会話をしながら、食事をしている
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		個室は一人ひとり、自由に家財道具類を持ち込み、気楽に日常生活を楽しんでいる